



久慈支部

地域支援事業の紹介

久慈支部
広報担当者 小笠原康浩

所属：介護老人保健施設
ユートピア白滝

今回は、久慈支部で行われている一般介護予防事業について、洋野町の紹介となります。洋野町は平成18年に旧種市町と大野村が合併して出来た町で、人口は約15,000人、高齢化率が40%を超えており、高齢化が進んでいる地域でもあります。介護予防事業に取り組んでいる団体は町全体で39団体ありますが、その中で支援が必要な団体に対し、3事業所の療法士で手分けして対応しています。主にいきいき百歳体操や運動測定への支援も実施し、今年度は家族介護教室で「高齢者の食生活・食事姿勢について」というテーマで実施する予定です。家族介護教室は昨年度も行われ、年1回程度実施しています。

今回、洋野町の介護予防事業の立ち上げに携わり、中心となって活躍されているユートピア白滝、成谷淳さんにインタビューしてみました🎤

Q.この事業にはいつから参画していますか

きっかけは地域包括支援センターからの依頼で始め、令和元年より参画し、今年で4年目です。現在は週2回程度関わりを持っています。私の方では現在5団体の支援を行っています。主に「いきいき百歳体操」「かみかみ百歳体操」に取り組んでいます。

Q.何か課題はありますか

百歳体操の参加者から、活動がマンネリ化しているのでは、違うことをやりたいという話が出ています。利用されている方の意見も伺いながら、内容の見直しや新たな活動を検討したいと考えています。男性の参加率が低い事も課題ですね。

Q.地域支援事業のやりがいは何ですか

いきいき百歳体操やかみかみ百歳体操を通して、地域住民との交流の場が得られ、機能的な目的も重要だが、通いの場で住民同士が繋がり、いきいきと生活されていることに気づかされる。私自身、地域住民の生活の中に黒子として参加し、地域に貢献出来ている事に感謝しています。

